



◎ 調理職員定年退職

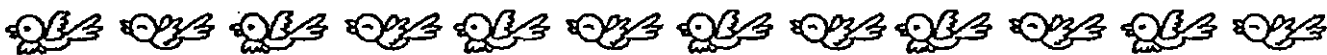
長年、富岡市と妙義町の学校給食を支えて来られた三人の職員が、3月で定年退職になりました。春は、出会いと別れの季節とも言いますが、勤め人の定めとはいえ一抹のさみしさを感じています。退職した三人は、それぞれ30年を超える歳月を学校給食に捧げてきました。

その一人の口癖が「我々は、5000人の子どもの命を預かっている。絶対に食中毒など出すわけにはいけない」。徹底した衛生管理は、自身の信念に裏打ちされたものだったのでしょう。

安全で安心な給食を作ることを常に心がけ、それを毎日繰り返す。そして、いつか時が流れ、職務を全うする。当たり前のように、実はそれを成し遂げるのは、当たり前での努力ではできません。自らを律し、後進を指導する姿は、ノウハウの継承とともに、学校給食に対する強い思いを伝えたかったのかも知れません。

富岡市学校給食センターが新しくなって、この8月で2年を迎えます。近代的な施設で、毎日、衛生的でおいしい給食が作られています。それを担っているのは、栄養士、調理員、パートさんなど、いわゆるマンパワーです。先輩諸氏が培ってきたスキルを受け継ぎ、さらに発展させ、次代に引き継がなければならない。三人の職員の定年退職に接し、改めて職員一同、決意を新たにしました。(は)

※ ご不明な点は、学校給食センター(62-1504)へご連絡ください。



新年度が始まり早くも1ヵ月が過ぎました。みなさん、新しいクラスにはもう慣れましたか？5月はじめにはゴールデンウィークがあり、旅行や遊びの計画を楽しみにしている人も多いと思います。ですが、この時期は“五月病”という言葉があるように、体調をくずしやすくなる時です。“五月病”にならないためには、規則正しい生活を心がけ、3度の食事をしっかり食べることが大切です。ゴールデンウィーク中も、お休みだからと夜ふかしや朝ねぼうをせず、早寝・早起き、朝ごはんをしっかりと食べて元気に過ごしましょう！

